

# 学びの個別化と協働化 をどう両立させるか

日時

2021年

11月20日 土 13:00-16:00

方法：オンライン（担当校 筑波大学）



登壇者

パネリスト：西野真由美（国立教育政策研究所）

小林祐紀（茨城大学）

佐藤隆之（早稲田大学）

安藤祐太（愛知県みよし市立三好中学校）

コーディネーター：京免徹雄（筑波大学）

田中マリア（筑波大学）

概要

新型コロナの拡大は、子どもたちが学校に通い、友達と関係を結び、ともに学び生活するという「当たり前」を奪い去った。日常の喪失は、そもそも集合形式で行われる学校教育の役割は何なのかを問い直す契機になっている。このような状況下で令和3年1月に公表された中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、ICTや学習履歴を用いた「個別最適な学び」と、探究的な学習や体験活動等を通じた「協働的な学び」をともに実現するという方向性を示した。

本シンポジウムでは、個別最適な学びと協働的な学びを別立てで構想するのではなく、カリキュラムや実践の中でどのようにつなげることができるか、知育だけでなく徳育（人間教育）も視野に入れて議論する。

参加申込：オンラインフォーム（QRコードかURL）からご登録下さい。

<https://bit.ly/3wJ3sm0> 【2021年11月12日（金）締切】

参加費：無料

主催：関東教育学会 共催：日本教育学会関東地区